

平成26年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月3日

上場会社名 マックスバリュ九州株式会社  
 コード番号 3171 URL <http://www.mv-kyushu.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 柴田 英二  
 (氏名) 赤木 正彦

TEL 092-433-1228

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第1四半期の業績(平成25年3月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第1四半期	33,446	—	9	—	14	—	△83	—
25年2月期第1四半期	31,110	—	278	—	273	—	105	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第1四半期	△11.10	—
25年2月期第1四半期	14.05	—

- (注)1. 当社は平成25年2月期に決算日を2月20日から2月末日に変更しており、平成26年2月期第1四半期累計期間と平成25年2月期第1四半期累計期間は対象期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載していません。  
 2. 当社は平成24年2月期第1四半期においては、四半期財務諸表を作成していないため、平成25年2月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載していません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年2月期第1四半期	31,799	10,693	33.6	1,420.60
25年2月期	31,141	11,010	35.4	1,462.76

(参考) 自己資本 26年2月期第1四半期 10,693百万円 25年2月期 11,010百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0.00	—	35.00	35.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	0.00	—	38.00	38.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	69,300	—	1,355	—	1,355	—	670	—	89.01
通期	140,000	—	2,800	—	2,800	—	1,300	—	172.70

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月期は、決算期変更により12ヶ月と8日間の変則決算となっておりますので、平成26年2月期の業績予想の第2四半期(累計)及び通期の対前年増減率については記載していません。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年2月期1Q	7,527,195 株	25年2月期	7,527,195 株
② 期末自己株式数	26年2月期1Q	37 株	25年2月期	— 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年2月期1Q	7,527,158 株	25年2月期1Q	7,482,792 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビューは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	2
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	2
3. 四半期財務諸表 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	6
(4) セグメント情報等 .....	6
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	6
(6) 重要な後発事象 .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間における経営環境は、昨年末に発足した新政権における経済政策、金融政策の効果等により、円高の是正、株価の回復が進むなど、持ち直しの動きが見られました。しかしながら、当社が地盤としております九州地区におきましては、改善の動きが鈍い雇用情勢や所得の伸び悩みに加え、平成26年度から予定されている消費増税等により、消費者の購買意欲は生活防衛意識の高まりから依然として慎重であります。

スーパーマーケット業界におきましても、生活者の低価格志向、厳しい価格競争といった状況や、少子高齢化によるマーケットの縮小、異業種の食品市場への参入拡大等、当社を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

当社はこのような経営環境の中、「九州のスーパーマーケット事業のリーディングカンパニーへ」のスローガンのもと、新店舗の開発及び既存店舗の活性化、また、更なる成長と熾烈な競争に打ち勝つ収益構造の改革に取り組んでまいりました。

成長の要となる新規店舗としまして、3月にマックスバリュ別府上原店(大分県)及びマックスバリュエクスプレス片江店(福岡県)、4月にマックスバリュ新宮杜の宮店(福岡県)を開店し、既存店舗4店を改装いたしました。また、4月にマックスバリュ古賀店(福岡県)を閉店いたしました。

営業面におきましては、昨年より引き続き、「朝トク7時」の開催による早朝時間帯の強化及びWAONポイント増量セール等を、商品面におきましてはイオンのブランド「トップバリュ」を拡販するトップバリュウィークの開催、約100種類のお惣菜を欲しい量だけ1g1円でお買い求めいただける「おかずバイキング」コーナーの展開拡大等により買上点数及び来店客数のアップを図り、売上高の拡大を目指し取り組みました。

販売費及び一般管理費につきましては、電気料金の値上によるコスト増が見込まれる中、削減への取り組みとして、店舗維持に係るメンテナンス費用等固定的なものを見直しに引き続き取り組み、改善を図りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高33,446百万円、営業利益9百万円、経常利益14百万円となりました。一方、特別損失として店舗閉鎖損失引当金繰入額を77百万円を計上したこと等により、四半期純損失は83百万円となりました。

なお、当社は平成25年2月期に決算日を2月20日から2月末日に変更しており、平成26年2月期第1四半期累計期間と平成25年2月期第1四半期累計期間は対象期間が異なるため、対前年四半期増減率については記載しておりません。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は前事業年度末に比べ658百万円増加し、31,799百万円となりました。主な要因は新店開店等により有形固定資産が420百万円増加したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債は前事業年度末に比べ976百万円増加し、21,106百万円となりました。主な要因は新店の開店等により支払手形及び買掛金が1,209百万円増加したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べ317百万円減少し、10,693百万円となりました。主な要因は四半期純損失83百万円の計上及び配当金の支払いによる利益剰余金263百万円の減少等によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の業績予想につきましては、本資料の公表時点において変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,662	3,773
売掛金	1,440	1,448
商品	3,318	3,358
貯蔵品	33	33
その他	1,726	1,714
流動資産合計	10,181	10,327
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	8,139	8,449
土地	3,084	3,082
その他(純額)	3,350	3,461
有形固定資産合計	14,573	14,993
無形固定資産	31	37
投資その他の資産		
差入保証金	4,393	4,441
その他	1,961	1,998
投資その他の資産合計	6,355	6,440
固定資産合計	20,960	21,472
資産合計	31,141	31,799
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,398	11,608
未払法人税等	567	47
賞与引当金	139	390
役員業績報酬引当金	40	—
その他	5,422	5,595
流動負債合計	16,567	17,642
固定負債		
長期借入金	1,625	1,450
店舗閉鎖損失引当金	148	201
資産除去債務	581	599
その他	1,208	1,213
固定負債合計	3,562	3,464
負債合計	20,130	21,106

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年2月28日)	当第1四半期会計期間 (平成25年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,587	1,587
資本剰余金	1,432	1,432
利益剰余金	7,871	7,524
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,891	10,544
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	119	126
評価・換算差額等合計	119	126
新株予約権	—	22
純資産合計	11,010	10,693
負債純資産合計	31,141	31,799

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年5月20日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年5月31日)
売上高	31,110	33,446
売上原価	24,003	25,897
売上総利益	7,106	7,549
その他の営業収入	392	399
営業総利益	7,499	7,948
販売費及び一般管理費	7,221	7,938
営業利益	278	9
営業外収益		
受取利息	5	5
受取配当金	3	4
その他	4	3
営業外収益合計	13	13
営業外費用		
支払利息	7	7
株式交付費	5	—
その他	4	1
営業外費用合計	18	9
経常利益	273	14
特別利益		
固定資産売却益	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産除却損	0	4
減損損失	5	1
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	77
特別損失合計	5	83
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	280	△69
法人税、住民税及び事業税	174	32
法人税等調整額	1	△17
法人税等合計	175	14
四半期純利益又は四半期純損失(△)	105	△83

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

当社は、食品及び日用雑貨品を主に販売するスーパーマーケット事業及びその附随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。